

STOP! 精神科病棟転換型居住系施設!!

♡ 生活をするのは普通の場所がいい ♡

病棟転換型居住系施設について考える院内集会

part 3

精神障害者も 認知症の人も 隔離は嫌だ!!

日時：2015年3月3日(火) 正午～午後2時

会場：衆議院第一議員会館（1階・多目的ホール）

精神科病院の中に「退院」させようというおかしさ——そのあまりの理不尽さに対し、昨年6月26日、日比谷野音での緊急集会に、障害当事者をはじめとする3,200人が集まりました。それでもなぜか、精神科病棟を住まいと言い換えるための施策を強行しようとする厚生労働省。その名は「地域移行支援型ホーム」——省令改悪による病院敷地内グループホームの新設です。また、1月27日に閣議決定された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、直前まで地域包括ケア中心で議論がまとまっていた当初案が、突如として、認知症の人を精神科病院へ入院を進める精神医療関与強化へと変質しました。病院に留め置かれ続ける精神障害のある人たち、病院の新たな収入源と目されている認知症の人たち…。住まいは普通の場所に！ 障害者・高齢者を狙う「収容ビジネス」にSTOP!!

病棟転換型居住系施設について考える院内集会 part 3 《プログラム（予定）》

- 基調報告「精神科病棟転換型居住系施設の問題の本質はどこにあるのか」 長谷川利夫（杏林大学教授）
 - 特別報告「認知症の人こそ地域で」 上野秀樹（内閣府障害者政策委員会委員、敦賀温泉病院医師）
 - リレートーク～精神障害、認知症の当事者、家族の声～
- ※ 会終了後、DVD「やればできるさ！～STOP! 精神科病棟転換型居住系施設」（40分）を上映します。

★★★★★★★★ 病棟転換型居住系施設について考える会 呼びかけ人代表 ★★★★★★★★★★

池原毅和（弁護士）、伊澤雄一（全国精神障害者地域生活支援協議会）、大熊一夫（ジャーナリスト）、加藤真規子（こらーるたいとう）、関口明彦（全国「精神病」者集団）、高木俊介（たかぎクリニック）、西村直（きょうされん）、長谷川利夫（杏林大学）、増田一世（やどかり出版）、八尋光秀（弁護士）、山田昭義（DPI日本会議）、山本深雪（大阪精神医療人権センター・大阪精神障害者連絡会）、渡邊乾（全国精神医療労働組合協議会）